



夏休み「何かひとつ」残るものを～

不安が入り混じったような始業式の表情からしますと、ここ最近の子どもたちの表情には、頼もしさすら感じるようになりました。この4ヶ月間、新しい人間関係をつくり上げようと一人一人が努力した賜だと思えます。また、保護者のみなさまには、いつも本校教育に温かいご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。ありがとうございます。今回は、1学期の終業式で太田っ子のみなさんに話した内容を掲載したいと思います。



いよいよ夏休みを迎えます。「夏休み」という言葉には、胸をわくわくさせる響きがあります。約40日間もお休みが続くのですから、当然だと思います。ところが、自分が子どもだった頃の夏休みを思い出してみると、そんなに楽しかった記憶がありません。なぜかという、休みも終わろうとしている時期の様子を思い出してしまうからです。皆さんも経験ありますか？宿題に追われる日々…。「あれも終わっていない、これもやらなきゃ」とあたふたと過ごす休みの最終日。絵日記が宿題にあった小学校低学年の頃など、それはそれは困ったものです。一カ月も前の出来事や天気など、覚えているはずありません。そして、夏休みが明けて学校がはじまると「あーあ、今年もなあーんにもしないまま夏休みがおわっちゃった。つまらないな。」という後悔とともに、「来年こそこんな苦しい思いにならないようにしましょう。」という決意をするのです。けれど、翌年も同じ轍を踏む。つまり、繰り返してしまいます。この原因は明らかです。夏休みも初めの頃はちゃんと朝起きていたのに、そのうちに段々とルーズになり、休み前に計画していた宿題や学習も一日、また一日と、繰り延べるようになってしまいます。やがて、夏の盛りには、罪悪感よりも楽しみが勝っていくようになる。そういった心の弱さにあるのです。そこで、少しアドバイスをしたいと思います。心の弱さを克服するといった難しい話として考えるのではなく、後悔のない夏休みにするためにどうするかということです。その時々、確かに楽しく過ごしても、何も心に残っていなかったら、つまらないままなのです。そして、夏休みには何か



ひとつ、心に残ることを薦めます。この時の条件は、「自発的な意志(夏休みの課題でもよい)で、普段の日は無理だが、夏休みだからこそでできること」です。たとえば、あるものを自分で設計して作成して形として残したり、普段疑問に思っていることについて、時間をかけて実験や調査をしてまとめたり、といったこともいいでしょう。また、腕立て伏せと腹筋を50回ずつ1日も欠かさずやるとか、休み中に本を10冊読破するといったことでもよいでしょう。自分で決めて、自分でその約束を守り、成し遂げた何かひとつのことがあれば、その夏休みは充実したものとなり、後悔どころか何年経っても「あの年はこれができた」と心に残るでしょう。ぜひチャレンジして、有意義な夏休みを過ごしてください。

(文責) 校長 岸本 裕希

【詩のコーナー】ぜひ家族で、

「なつがくる」 かぶとてつお

(工藤直子)

いつもねむってたくろいつちのなかしろいすがたしてくるりまるまっ

おきているときはたべてあそんでたべてあそんではとろとろとねむる

つちのなかにいてぼくはまだこどもかぶとおしだけどかぶとおしでない

やがてなつになりたびだちのしたくまるいあなのなかちやいろいさなぎ

おねがわれはじめつのがあらわれたくろくつやつやのぼくはかぶとおし

ひかるつちのうえみどりいろのかぜきのしるはあまくぼくはもうおとな

かたいはねひろげうすいはねのぼしつをつきだしてとぶよどこまでも





給食センター見学（1年生）

6月17日に3・4組が、25日に1・2組が給食センターの見学に行きました。センターの2階から、厳しい衛生管理の下、調理員さんが給食を調理してくださっている様子を見ました。1階の部屋では、センターの紹介DVDを見せてもらったり、実際に使用されている大きなしゃもじを使ったかき混ぜ体験をしたりしました。

学年おにごっこ（スポーツ委員会）

スポーツ委員会のみなさんが、各学年対象に学年おにごっこを実施しました。運動場の決められた範囲内で、鬼につかまらないように逃げるといふものです。鬼にタッチされると、所定の場所で助けを求めることとなります。6月の昼休みの暑い中ではありましたが、子どもたちは元気に駆け回っていました。5・6年生の時は、本校職員も鬼となって参加しましたが、子どもたちのすばしっこさにタジタジでした。



土をいただきました！（園芸委員会）

マクドナルド太子店から、コーヒー豆のかすからできた花と野菜を育てるたい肥「しょくいくのもと」をいただきました。「しょくいくのもと」で花や野菜を育て、リサイクルや食育を体感しながら子どもたちも地球も笑顔になってほしいという願いがこめられています。園芸委員会の子どもたちには、そのたい肥を使って、花の苗を植えてもらいます。

にこにこタイム（全校生）

昨年度まで、「なかよしタイム」と言っていた全校生対象の縦割りグループでの活動です。それぞれのグループで6年生が中心となって、けん玉や楽しい遊びを年間通して展開していきます。この日は、名前を確認した後、けん玉をしていきました。教え合ったり、得意な人が技を見せたりしていました。どの教室も和やかな雰囲気でした。異学年でのふれあいは、あるようでなかなか機会がないので、貴重な出会いの場となっています。



着衣水泳（全校生）

どの学年も水泳学習の最後に、着衣水泳を行いました。これは、川や海の近くで遊んでいて、落ちてしまった時の対応について学ぶ学習です。泳いでいる時の水着と服の違いを体験した後、浮くためにどうしたらいいかを考え実践していきます。慌てれば慌てるほど、沈んでしまいます。全身の力を抜くことで体が水面に浮き、顔を上に向けることで呼吸を続けることができます。合言葉は、「浮いて、待て！」です。



水難事故防止と SNS の使い方への配慮をお願いいたします！

いよいよ夏休みになります。この夏休みの間に、保護者のみなさまに留意していただきたいことがあります。それが「水難事故防止」と「SNSの使い方」の2つです。

まず、「水難事故防止」についてです。すでに全国各地で水難事故が相次いでいます。次の5つの点を心がけていただきますようお願いいたします。①子どもだけで海や川に行かせない。②子どもから目を離さない。③監視員のいる海水浴場で遊ぶ。④海や川で遊ぶときはライフジャケット等の浮力体を着用する。⑤通信手段（防水ケースに入れた携帯電話等）を携帯し、事故の際には即通報する。

次に、「SNSの使い方」についてです。今、高学年の子どもたちの約半分がスマホを使用していたり、多くの子どもたちがゲームを通してネットとつながったりしている現状があります。スマホを正しく使えば、大変便利で楽しいものですが、一歩間違えると自分の人生を変えるほどの大きな被害にもつながります。長い夏休みの間に、ご家庭でもスマホやネット、ゲームなどとの付き合い方について配付しておりますアウトメディアチャレンジ等をご活用いただき、もう一度話し合ってください。

【 がんばりの足跡 】

- ◇第53回相生市親善剣道大会小学生の部（6月15日）
準優勝 太子丹生会 内田創（5年）赤松隼之介（5年）
- ◇第40回白虎旗争奪剣道錬成大会小学生の部（6月15日）
準優勝 太子丹生会 内田創（5年）赤松隼之介（5年）
- ◇ピティナ・ピアノコンペティション姫路地区（6月15日）
優秀賞 柏原千遥（6年）
- ◇第36回兵庫県スポーツ少年団柔道交歓大会小学5年生男子重量級の部（6月22日）
第2位 松本大知（5年）
- ◇第36回兵庫県スポーツ少年団柔道交歓大会小学3年生女子の部（6月22日）
第2位 鈴木七央（3年）
- ◇第46回兵庫県ジュニア体操競技選手権大会 CⅡクラス個人総合（6月29日）
第6位 坂井桜月（5年）
- ◇第46回兵庫県ジュニア体操競技選手権大会 CⅡクラス種目別段違い平行棒（6月29日）
第2位 坂井桜月（5年）
- ◇第124回小学生サッカー大会B級（6月29日）
優勝 太子FCjr
- ◇第124回小学生サッカー大会D級（6月29日）
優勝 太子FCjr
- ◇ルゼルカップ2年の部（7月6日）
優勝 太子
- ◇第22回 JA 兵庫西杯ソフトボール大会（7月5日）
準優勝 太田ファイターズ
- ◇第24回兵庫県スポーツ少年団ソフトボール交歓会 Aリーグ（7月6日）
準優勝 太田ファイターズ
- ◇第24回兵庫県スポーツ少年団ソフトボール交歓会オープンの部 Aリーグ（7月6日）
第3位 オープン太田ファイターズ
- ◇第24回兵庫県スポーツ少年団ソフトボール交歓会オープンの部 Jr.リーグ（7月6日）
第3位 太田ファイターズ Jr.
- ◇第49回兵庫県小学生陸上競技大会男子6年走り幅跳び（7月6日）
第8位 宮下悟志（6年）

